

 取組概要

- 庁内各課の職員と市民と一緒に地域防災計画を検討する「地域防災計画改定検討委員会」を設置
- 女性の視点を盛り込むために委員にできる限り女性を選出するよう要請し、委員全体の6割以上を女性にすることを実現

取組のきっかけ 『職員も住民も当事者意識を持てる計画に改定したい！』

令和元年東日本台風(令和元年10月台風19号)の災害対応で混乱が生じたことをきっかけに、気象防災アドバイザーが市長から指示を受け、地域防災計画を大幅に改定することに。

↓

計画の内容を確認すると、防災関係の部署だけで作成しているような印象を受け、男女共同参画や要配慮者の視点が欠けていた……



全職員と地域住民が当事者意識を持って災害対応に取り組めるようにするため、市が一体となって防災を考える仕組み「地域防災計画改定検討委員会」を発足。

↓

要配慮者や男女共同参画の視点からも地域防災計画の内容を確認し、より実効性のある地域防災計画への改定を目指そう！



1 職員と市民と一緒に検討する仕組みをつくり、多くの女性が参画！

委員の選出

1. 庁内各課から1名ずつ選出してもらい、自治会や市が養成した自主防災リーダーなどの市民も加わり、**市全体で防災について検討する仕組み**を作った

こんないいことがあった！



被災経験が少ない中で、**全庁的に市民の命を守る防災意識を持つ環境**をつくれた！



2. 各課からメンバーを選出してもらう際、**防災における女性参画の必要性を全庁的に共有した上で、できる限り女性を選出するよう求めた**
- 地域に委員を選出してもらう際にも、**半数は女性を選出するよう要請した**

こんないいことがあった！



委員全体の6割以上が**女性**になった！

地域の実情を踏まえて検討！



キックオフミーティング

3. 過去の災害事例を基に、**「災害時には要配慮者や女性などへ被害のしわ寄せがいく傾向が強い」**ことなどを伝えた

これをやったらうまくいった！



要配慮者や男女共同参画の視点から**市の地域防災計画の内容を確認して、改定の必要性を訴えた！**

キックオフで意識を統一！



4. 災害時の事務分掌が近い組織ごとに、**1)運営部会(本部、応急対策):総務部等**
2)避難・避難所部会:福祉部、教育部等
3)復旧部会:建設交通部、上下水道局等の3部会に分かれて検討した

こんないいことがあった！



各部署・各組織の代表者として意見を出すことで、**参加者の意識が変わり、防災が自分事**になってきた！

2 災害の段階ごとの部会に分かれて検討し、委員自身の防災意識も向上！

3部会による検討

1. 部会ごとに4回の検討を進めた

- 【1回目】課題出し
- 【2回目】1回目の結果を基に計画の修正箇所の検討
- 【3回目】対策の検討
- 【4回目】計画の修正内容について合意形成、改定完了

こんないいことがあった！



「万が一の事態が起こったときは、みんなで命を守ろう」という共通認識をもって話し合いを進められた！



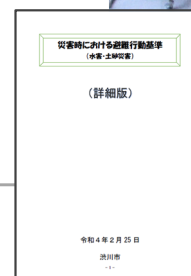
計画の附則にあるマニュアル

- #### 2. 検討中に出された、「地域防災計画は分厚く、災害の時間軸で書かれていない」「その取組がなぜ必要なのかを書き込んだものが必要ではないか」といった意見から、マニュアルを作成した

さらにいいこと！



作成した計画をより実効性のあるものにするため、訓練を行いながら内容を検証した！



女性も意見を言いやすい環境に！

更に実効性を高めるための取組

～市内全自治会で
避難タイムラインの作成(4年計画)～

- #### 3. 意見を出しやすい環境づくりや、議論の論点がぶれないようにするために、ファシリテーターを配置した

これをやったらうまかった！



検討前にファシリテーター向けの研修を実施してポイントや考え方などに対する認識を共有したことで、グループ検討を適切に進めることができた！

